

佐野短期大学シラバス2013

2015年度入学生向け

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
情報科学 Computer science		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
なし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
なし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
亀田和則	講義棟3 F	月曜日		授業中に指示します
授業の概要				
コンピュータ、スマートフォンに代表されるように情報通信技術の進歩には目覚ましいものがある。情報通信技術の発展により、「情報」が時間と空間を超えて、関心を持つ人々の間に瞬時に伝えられるようになった。こうした情報化の進む社会の中で、私たちの生活の仕方や社会のしくみが大きく変わった。 この授業では、①情報の収集、整理、発信など情報の活用について、②情報システムのしくみや基礎的な技術について学習する。				
授業の到達目標				
①情報の概念、②情報の収集・整理、③情報の加工、表現、④情報の発信、⑤情報の管理とセキュリティ、⑥問題解決の方法論、⑦コンピュータのしくみ、⑧情報通信ネットワーク、⑨情報のデジタル表現、⑩セキュリティを守る技術、について説明することができるようにする。				
授業の方法				
情報に関して理解を深めるため教科書の練習問題を多く取り入れ、毎時間配布するレポート用紙に解答を記入し提出する。				
学習の成果				
①情報の活用と発信について、②情報の処理と技術について説明することができ、情報社会の中で必要とされる「情報」を収集することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（学習成果、成績評価）、①情報の概念			
第2回目	①情報の概念、②情報の収集・整理			
第3回目	③情報の加工、表現			
第4回目	④情報の発信			
第5回目	⑤情報の管理とセキュリティ			
第6回目	⑤情報の管理とセキュリティ			

第7回目	まとめと中間試験	
第8回目	⑥問題解決の方法論	
第9回目	⑦コンピュータのしくみ	
第10回目	⑧情報通信ネットワーク	
第11回目	⑨情報のデジタル表現	
第12回目	⑩セキュリティを守る技術	
第13回目	⑩セキュリティを守る技術	
第14回目	まとめと期末試験	
第15回目	解説	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		
レポート	20%	満点の条件は「教科書の練習問題に対して適切に答えている」である。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験	80%	採点の配分は中間試験が40%、期末試験が40%である。中・期末試験の配点率は、穴埋め問題を20%記述問題を20%とし、記述問題の満点の条件は「授業と自分の考えが明確に示され第三者が納得できる」である。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：「ネットワーク社会における情報の活用と技術」（実教出版）		
履修上の心得・ルール		
なし		